



地誌学

－北陸・石川の自然とくらし－

担当：青木賢人（金沢大学地域創造学類 環境共生コース）

kentaoki@staff.kanazawa-u.ac.jp

<http://kentaoki.sakura.ne.jp/>



自己紹介

- **青木賢人（あおきたつと）**
 - 金沢大学地域創造学類環境共生コース所属
 - kentaoki@staff.kanazawa-u.ac.jp
 - <http://kentaoki.sakura.ne.jp/>
 - Facebook @kentaoki
- **専門：地理学（特に自然地理学）**
 - 地理学ってなんだ？
- **東京圏出身・東京圏育ち，札幌経由金沢着**
 - 2002年5月に金大着任.
 - 日本酒と魚がうまいことが とても幸せ.

先週は課題対応ありがとう

- 現在 集計中です。
- 想定していたもの、想定していなかったものがあった、楽しいです
 - 「**金城大学**」は想定内でしたが、
 - 「**白山菊酒**」は想定外・・・授業でやります
- 「白山」「手取川」を多くの方が挙げてくれた。
- 「白山手取川ジオパーク」挙げた人がいて、私としてはとても嬉しい！



講義の概要

■ 授業の主題

- 地域を多面的に把握・理解する学問である「地誌学」の考え方，方法論に関して講義を行う。
- 身近な地域である石川県，北陸地方を事例として取り上げ，自然環境と地域社会の関連性に注目した諸トピックについて解説を行う。

■ 授業の目標

- 石川県，北陸地方の地域特性を理解する。
- 授業で扱った事例を参考に，他地域に関しても理解できる能力を獲得する＝社会科・地歴科教員として，「地域をみる」基本的な能力を獲得する。

成績評価

- **授業には、3分の2以上の出席を必要とする（20%）**
 - 試験をのぞく講義回数の2/3以上の出席を期末試験の受験条件とします。
 - 出席回数に応じて、20%の範囲で加点します。
 - **休講の分は、以下のいずれかに振り替えます**
 - 休日に実施する、屋外実習（巡検）に参加する・・・12/22
 - 白山手取川ジオパークで開催されるジオツアーに参加する
 - 11/16鶴来, 12/7松任, 12/21美川 各回数人が上限 要申し込み
 - **レポート課題（12月中に提示）**
- **期末試験は、最終の講義時間に行う（60%）**
 - 自筆・自作のノートの持ち込みを可とする。
- **レポートを冬期休業中に課します（20%）**
 - レポートの点数は内容で評価します
 - **公開レポートとします（匿名で）・・・ジオパークに関係する全国の大学関係者・行政関係者に見てもらおうことがあります。**
- **出席、試験、レポートなどで不正行為があった場合、規定に則った措置をします。**

教科書・参考書



ココ!

■ 教科書は使用しません.

- 講義はスライドを用いて行います。資料配布は原則として行いません。講義に使用したプレゼンは、速やかに私のwebページにアップします。講義中に必死にノートを取る必要はありません。スライド番号を利用して、ポイントを記録していきましょう。
- プレゼンを利用してノートを作成することはOKです。ただし、ダウンロードしたプレゼンをそのままプリントアウトしたものや、作業の程度が著しく低いものは「自筆のノート」とは認めません。試験中でも没収することもあるので気を付けてください。

■ 参考書

- 朝倉書店『日本の地誌シリーズ』・・・図書館で！
 - 1巻 日本総論Ⅰ 自然編 (18,900円)
 - 2巻 日本総論Ⅱ 人文・社会編 (24,150円)
 - 7巻 中部圏 (27,300円)



講義の進め方

- 質問・意見には可能な限り対応します。メールを使って連絡をください。
- kentaoki@staff.kanazawa-u.ac.jp
- 寝てる子は起こしません。迷惑なほどいびきが大きければともかく・・・
- 遅刻と私語は厳禁。非道いようなら講義開始後の鍵閉め、私語した者の退場も検討します。



授業の予定（10月）

- **10月11日（第2回）：ガイダンス**
 - - 地理学とはなにか -
- **10月18日（第3回）：「石川の自然と社会」概観①**
 - - 石川の酒と肴 酒編 -
 - 午前中は講義があります（午後は金城祭で休講だけど）
- **10月25日（第4回）：「石川の自然と社会」概観②**
 - - 石川の酒と肴 肴編 -



授業の予定（11月）

- **11月01日（第5回）：北陸の気候とくらし**
 - - 北陸の気候と世界の気候 -
- **11月08日（第6回）：金沢の自然とくらし 1**
 - - 金沢の平野と水 -
- **11月15日（第7回）：金沢の自然とくらし 2**
 - - 金沢地震にそなえよう -
- **11月22日（第8回）：手取川扇状地の自然とくらし①**
- **11月29日（第9回）：手取川扇状地の自然とくらし②**
 - - 「水の恵み」と「水との戦い」 -



授業の予定（12月）

- **12月06日（第10回）：白山手取川ジオパーク**
 - -山・川・海そして雪 命をはぐくむ水の旅-
 - この週にレポートの課題を提示します。冬休み中にレポート課題をこなしてください。
- **12月13日（第11回）：日本の中の北陸地方**
 - -西日本と東日本-
- **12月20日（第12回）：世界の中の北陸地方**
 - -地球温暖化現象の石川県への影響-
- **12月22日（日曜日）：鶴来巡検**
 - -手取川扇状地の自然とくらしをみる-
 - 詳細はのちほどアナウンスします



授業の予定（1月）

- 1月10日（第13回）：能登半島ってどんなところ
 - - 「半島性」について考えよう -
- 1月17日：休講・・・巡検に振り替えます
- 1月24日：期末試験



鶴来巡検

■ 鶴来の街の野外見学を行います。

- 講義で説明した「手取川扇状地の自然とくらし」について、実際に鶴来の街を歩いて、自分の目で見ることの確認し、理解を深める。
- 地理学分野では、こうした野外見学を「巡検」と呼んでいます。

■ 実施予定

- **12月22日（日・午前/午後）**
- 午前（9:00～12:00）・午後（13:00～16:00）の2回実施。いずれかの回に参加してください。小雨・小雪決行。
- 11月中に参加希望時間の調整と持ち物、集合場所などの詳しい情報を指示します。

空間・地域の科学としての地理学

空間・時間の認識方法とは？
地理学・地誌学とはなにか？



地理「学」とは？

地理学

自然地理学

- 地生態学 (生物圏)
- 水文学 (水圏)
- 気候学 (気圏)
- 地形学 (地圏)

人文地理学

- Etc...
- 農業地理学
- 文化地理学
- 歴史地理学
- 経済地理学

系統地理学

地誌学

- Etc...
- 北陸地誌
- 日本地誌
- アジア地誌



地理学の特徴

- 自然科学・社会科学・人文科学の全領域に研究領域を持つ。
- 文学部・理学部・教育学部（一部は経済学部・工学部）など，大学によって研究室が属する学部が異なる。

なぜ こんなことが起こるのか？



地理学の存立基盤

- **普通の学問分野 → 特有の対象**
経済学, 法学, 言語学, 物理学, 地質学, 化学,
工学 . . . etc
- **地理学 → 「空間」 「地域」という特有の見方**
広域・複合科学的性質

地上に存在するあらゆる事象には〈空間〉〈地域性〉
が伴うので、あらゆることが地理学の対象となりうる。



記載の科学・個別の科学

- **地理学 : Geography**

 - **Geo (地球) を graph (記述) する**

 - 地理の「理」は、理論・理屈の理ではなく、肌理（きめ：表面の模様）の理。

- **地誌学 : Topography / Regional Geography**

 - **Topo (場所) を graph (記述) する**

 - **Region (地域) を graph (記述) する**

- 純粋な法則定立型の科学ではない
 - 物理学や化学とは異なる
 - 地学 (geology) と近いが違う
- 必ずしも「役に立つ」ことが必須でもない
 - 工学や薬学とも異なる



つまり . . .

地誌学は地球上すべての地域を対象に

〈なにが〉 〈どこに〉 〈どのように〉

存在（分布）しているかを明らかにし

〈なぜ〉 〈如何にして〉

そうなったのかを考える学問



言い換えれば「地域の個性学」

地誌学とは

それぞれの地域が

「どんな特徴を持っていて」

「どうして、そんな特徴が生まれてくるのか」

学問である

高校までの「地理」でイメージされている暗記モノ（たとえば川、湖、山の名前を暗記したり、輸出入統計を覚えること）とは全く違うことをわかって欲しい。

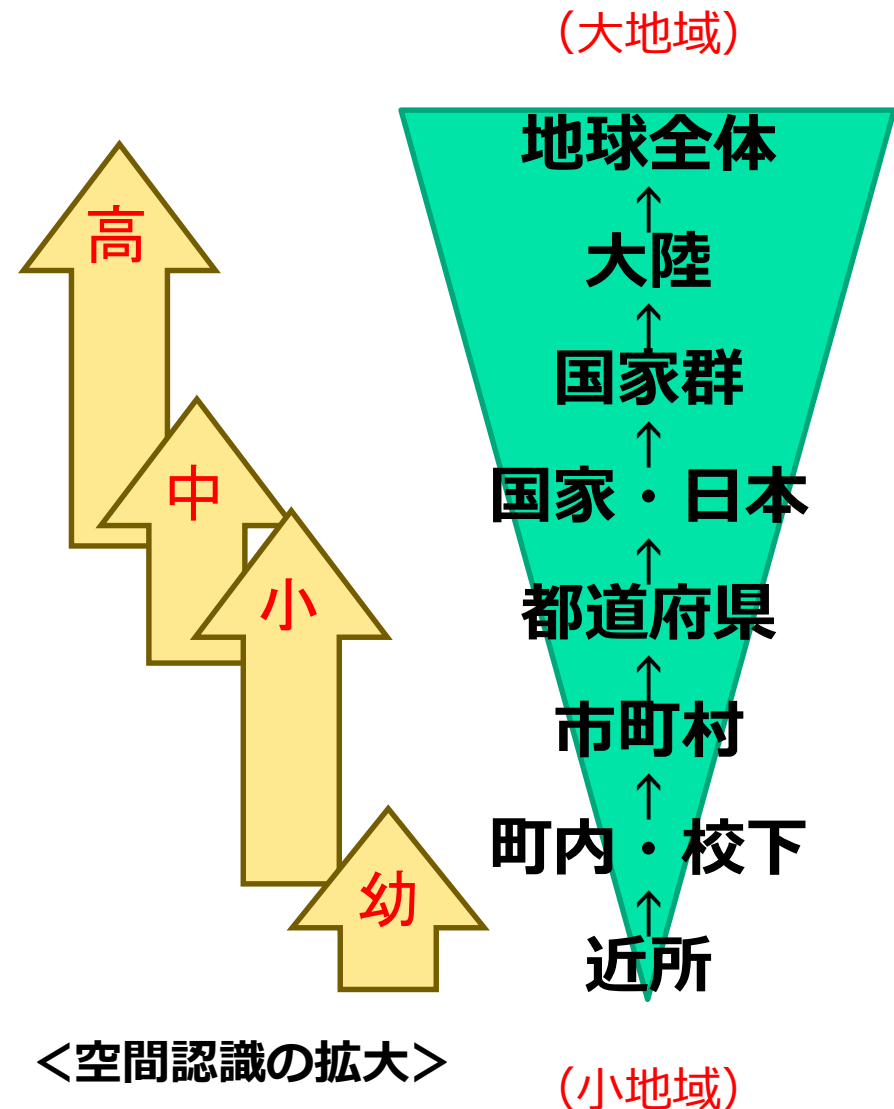
そもそも「地域」ってなんだ？

- 共通した「特徴」を持ち，周囲から区別することができる「空間」的な広がり。
 - 属性 + 空間のセット
- **等質地域**：同じ特徴を一様に持っている場合
 - 「同じ気候的特徴を有する」「同じ言語を用いる」など
 - 行政区（国・自治体など）は，等質地域の一つに過ぎない
- **機能地域**：結びつきで特徴付けられる場合
 - 「同じ店に買い物に行く人が住んでいる」「河川の流域」など

ある特徴を持つ地域の広がりや、別の特徴を持つ地域の広がりが一致しないことは良くあること。複数の特徴によって、新しい地域に区分することもできる。また、一致しないことが「問題」を生じさせることもある（宗教と国境の不一致など）。

地域の広がり と 空間認識

- **小地域は、より上位の概念からなる大地域に包括される。**
 - ある地域を事例に「地域の見方」を学ぶことで、スケールの異なる地域に適応することができるようになる。
- **人は成長段階に応じて空間の認識力が拡張されていく。**
 - 学習段階に応じて、扱う地域が拡張されていく。





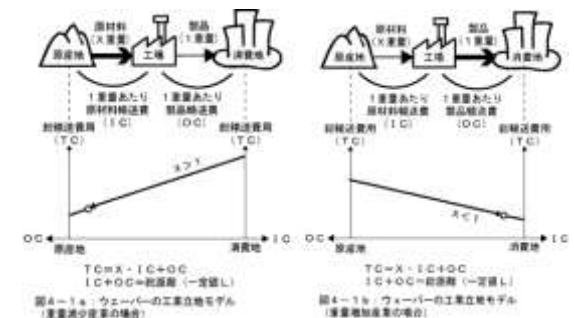
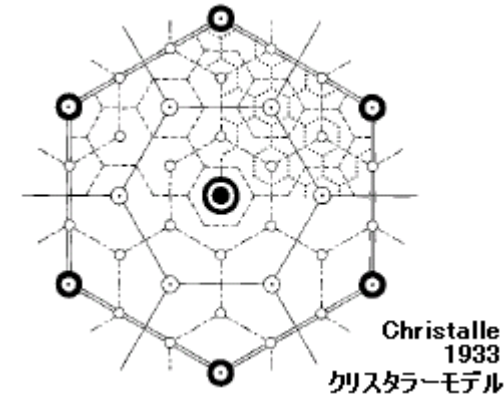
「空間」と「地理学」

- **地理学** → 「空間」に係わる学問
 - 「空間」性とはなんだろうか？
- **【相対的な「位置」の問題】**
 - 「都市はどのような配列をするのか？」
 - 「都市に近いところの農業は？」
 - 「工場はどこにできるか？」
- 時間や地域を越えた，空間的法則性を追求

相対的な「位置」の問題

- 「都市はどのような配列をするのか？」
 クリスタラーの中心地理論
- 「都市に近い・遠いで農業の仕方は変わる？」
 チューネンの孤立国
- 「工場はどこにできるか？」
 ウェーバーの工業立地論

→時間や地域を越えた、空間的法則性を追求
 分布や空間構造の普遍的理解・モデル化





もうひとつの視点

- **【絶対的な「場所」の問題】**
 - 現実の世界は それほど均質ではない
 - 外国の風景・風習は日本と大きく異なる.
 - 「日本らしさ」の存在
 - 「場所」が違うことにより, 差違が生じる
 - 「場所による違い」を扱うことも重要な課題

一般の人が思う「地理」

- 「地理に詳しい」・・・土地勘がある

- 「ところ変われば、品変わる」

- 「秘密のケンミンSHOW」

- 県民性，県民気質

- 土地・地域の特色，お国柄



- それぞれの地域が，それぞれの特色・特徴を持っていることは，一般的な社会での共通理解.

- 「地域」ごとに「違い」が存在している

この講義のねらい

- **石川県・北陸地方の自然環境に対する理解をベースに、「人と自然がどのように関わっているか」を理解する。**
 - 「人」や「社会・経済」のみから地域を理解しようという立場もあるが、私は自然環境の理解を抜きにして地域を理解することはできないと考えています。
 - エネルギー保存則、物質循環の原理から考えれば、すべての人間活動は自然環境に依存し、自然環境に還元される。自然環境とは、すべての人間活動のプラットフォームであり、資源であり、エネルギーであるとともに、制約条件ともなる。
- **地域の環境を地球スケールでとらえなおし、身近な地域を相対化して理解する。**
 - 地域を理解するための道筋を獲得できれば、地域を変えても理解することが可能になる。



次回

- 第2回：「石川の自然と社会」概観①
 - -石川の酒と肴 酒編-
 - この授業全体のイントロダクションとして，身近な事例を取り上げて，「自然環境と地域性」との関係を見ていく。